

# ハートスタート FRx 機器説明

✓小児キースロット  
→小児キー（オプション）を差し込むと小児モードに変わります。



①電源ボタン

②「i」ボタン

2

③ショックボタン

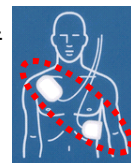
ショックボタン

点滅:使用可能  
消灯:使用不可

➢「i」ボタンを押すと  
→機器の現在の状態を  
音声でご案内します

①電源ボタンON/OFF  
→電源ボタン長押しで、電源OFF

②パッドを患者の胸に装着  
してください  
→パッドの装着位置を示  
すランプが点滅します



③ショックボタン  
→ボタンを押してショック実行



解析ランプ  
→パッド装着後に解析ランプが点滅し、解析を始めます。

## AED使用した心肺蘇生法

### 1)反応の確認をする

肩を軽く叩きながら「わかりますか？」  
などと2～3回呼びかけます。

わかりますか？



### 2)大声で協力を求める

「誰か来てください！  
人が倒れています。」

人が倒れてます>あなた119番報  
通報してください。  
あなたAEDをもってきてください。



### 3)人工呼吸2回、胸骨圧迫30回を繰り返す

普段どおりの息がなければ人工呼吸を行いません。  
鼻をつまみ顎をあげて人工呼吸を2回行います。

**2 : 30 強く、正しく、絶え間なく**



2回



30回

人工呼吸2回と胸骨圧迫30回を繰り返します。

### 4)AEDの電源を入れる



緑の電源ボタンを押すと  
自動的に電源が入ります

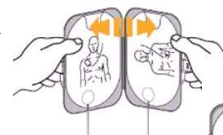


※ 8歳未満または体重  
25Kg以下の小児の場  
合は小児用キー（オプ  
ション）を挿入します。

電源を入れた後は、  
音声メッセージで案内されます。

### 5)電極パッドを傷病者の胸にはる

カードリッジから電極パッドを取り出し、  
表面に描かれている位置に貼ります。



『絵の通りにパッドを貼ります。』

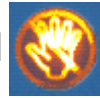


パッドが貼られると  
自動的に解析が始まります。

## 6)解析



『身体に触れないでください。解析中です。』



心電図が自動的に解析され、除細動の適応であれば点滅しているオレンジのボタンを押すように指示がでます。



## 7)除細動を行う ショックボタンを押します。



『ショックが必要です。身体から離れてください。点滅しているオレンジのボタンを押してください。』

自動的にエネルギーが充電され、オレンジのボタンが点滅します。このとき、以下の安全確認を必ず行ないます。

- 声を出して離れるよう指示します。
- 手振りでも離れるように指示します
- 身体に誰も触れていないのを確認します。



その後に  
ショックボタンを  
押します。



## 8)直ちに心肺蘇生を再開する

➤胸骨圧迫から再開します。

2分間(5サイクル)の心肺蘇生の後にAEDが再度自動解析し、除細動が必要かどうか指示します。

何らかの応答や体動があってもパッドは貼ったままにします。  
※患者の状態が変化すると、AEDが反応します。

何らかの応答や目的のある仕草(例えば嫌がるなどの体動)、あるいは救急隊が到着し引継ぐまで続けます。

## 9)救急隊に情報を伝える

- 救急隊が到着するまで、AEDの指示に従って繰り返します。
- 救急隊が到着したら、傷病者が倒れた時の状況とAEDの使用状況について伝えましょう。

**「i」ボタンを押すと、救急蘇生法を補助する音声メッセージ(CPRコーチング機能)を聞くことができます。**

## ★ AEDの使用時の注意点

- 汗や水で身体が濡れているとき  
→ タオルなどで拭き取ってからパッドを貼る
- 胸毛が濃いとき  
→ 体毛を除去してからパッドを貼る
- パッドを貼る位置に湿布薬等が貼られているとき  
→ はがしてからパッドをはる
- ペースメーカーなどの機器が埋め込まれているとき  
→ 埋め込み位置から3cm位離れたところに貼る
- ネックレスなどがあるとき  
→ 胸部周辺の金属類を取り除いてからショックを実行する



本商品に関するお問い合わせ先  
ALSOK 総合警備保障(株) 神戸支社  
TEL : 078-222-6971